田島けんじ TAJIKEN NEWS 区議会だより

http://www.t-ken2.com　2009.12.20 VOL.3

連絡先：目黒区平町2-16-4　TEL 03-3723-6063

ご挨拶

木枯らしが冬の便りを運んで来ますと、急に冷え込みが強くなり年の瀬を迎えます。皆様には寒さに負けずご健勝の事と、お慶び申し上げます。

12月の1日に宮司さんより陰暦師走の語源についてお話を聞きました。師匠の僧でさえ東西を馳せる月と解釈する「師馳す（しはす）」が民間語源にて進化して、師走となったとの説が一般には浸透して居ります。他にもいくつかの説があるそうですが、「四季が果てる月」を意味する「四極（しはつ）」が変化して師走になった説もあり、日本には繁栄を齎（もたら）す感謝すべき四季があり、新しい春に向かって心構えを直す月でもあると教えて頂きました。

新春（元旦）を迎えるにあたり平成21年を振り返ってみますと、１期生ながら会派の副幹事長に任ぜられ、会派の内務並びに他会派との折衝など幹事団に入り勉強して参りました。７月には東京都議会議員選挙があり逆風の中、他区に於いて会派の重臣が議席を失う中、皆様のご支持のもと、目黒選出の鈴木隆道都議会議員が議席を守りました事を感謝して居ります。衆議院議員選挙に於きましては、「１回遣らせて見ろ」との風が国中に吹き荒れました。皆様から大きな支援を頂きながら我が選挙区の佐藤ゆかり氏が惜敗しました事をお詫び申し上げます。この結果を真摯に受け止め自由民主党の再生に向けて区議会からも切磋琢磨し頑張って参ります。

政権交代が行われて間もない時期ですが、早くも外交・財政問題等、急を要する経済対策に於いて躓（つまず）いており、今後の日本の舵取りが危ぶまれて居ります。

目黒区行政に於きましては、22年度から今後10年間の目標を決めていく「ともにつくる　みどり豊かな　人間のまち」を目指した基本計画を纏（まと）め上げ、実施計画を立ちあげる検討に入りました。

区財政におきましては、決算委員会に於いて課題が残る物の、歳入が1,047億9.8％の増となり無事に決算致しました。しかし22年度の区予算は国の財政と同様に、昨年のリーマンショックによる、急劇的な経済の冷え込みにより、予想を上廻り60億減にて予算編成を始めた所です。緊急を要する課題、区施設の老朽化による改築等の中長期的に取り組む課題があり、財政は困窮して居ります。

施策に必要なもの、不必要なものを精査して今後も行政に対して無駄遣いの無い様に発言して参ります。地域の課題に取り組み区政に反映させるべく、尚一層努力致しますので、今後共ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

先達の指導に従い勉強し、人の意見を良く聞き、感謝の心を忘れず、謙虚に反省し、健康に留意して、家族を大切にして来年に向かって頑張って参ります。結びに22年度の皆々様のご健勝とご繁栄を祈念してご挨拶とさせて頂きます。

▲平成20年度一般会計歳入歳出決算認定に対する賛成討論でのスナップ

平成21年 議員写真展で入選

11月18日から行なわれた目黒区議員写真展で出品作品「色とりどり　黄、緑、青」がみごと入選！　今年の課題のテーマは「四季折々」でした。

平成21年 企画総務委員会 行政視察

10月20日から22日までの2泊3日、目黒区議会・企画総務委員会の行政視察で、鹿児島市、人吉市、宮崎市を訪問しました。鹿児島市では防災や観光情報をパソコン上で検索できる地図情報システムなど、また人吉市では「ハローから始まるふれあいin人吉」プロジェクトの取り組み、宮崎市では、歳入確保対策本部の取り組み等を視察しました。写真は宮崎市役所前で参加議員と。

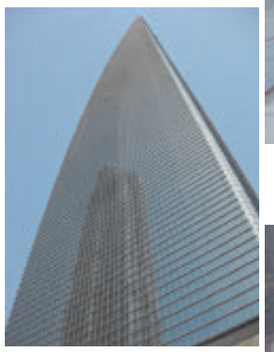
公選法を遵守し、年賀状発送を自粛しております。

日中議員連盟 北京・上海国際親善視察

10月13日から17日まで、国際親善･行政視察で中国の北京・上海市を訪れました。北京市では目黒区と友好都市提携を結んでいる崇文区を表敬訪問し意見交換、上海市では万博予定地の視察を行いました。

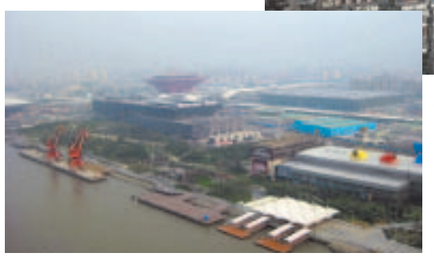
▲崇文区で友好の桜の木を植樹

▲日中友好親善で訪れた北京市街でのスナップ



▲上海での超高層ビル外観

▲超高層ビルから見た上海の街



◀上海の万博予定地

残念でしたが、2016年の東京オリンピック招致議連の活動で、オリンピアン岩崎恭子さん（中央）・丸山珠代参議院議員（左）と。

自由が丘駅前広場整備計画について

1　主な経緯

○平成17年９月　自由が丘地区都市再生整備計画策定（駅前広場は平成22年度までに整備）

○平成20年２月　自由が丘駅前広場整備計画素案、区民意見募集
（主な意見 ①もう少し時間をかけた検討、②整備計画検討への住民参加、③タクシープール等の配置や量（台数）の再検討など。）

○　〃　５月　自由が丘駅前広場整備計画策定懇談会発足
（住区住民会議、町会・自治会、商店街振興組合、公募区民、区関係所管課長の17名で構成）

○　〃　～10月　懇談会を６回開催、提言書を作成

○　〃　11月　懇談会、提言書を区長に提出

○　〃　12月　区、提言書を踏まえ自由が丘駅前広場整備計画（案）策定、区民意見募集

・整備計画（案）の基本的な考え方
(1) 歩行者広場の確保、歩道拡幅とともにバリアフリー化を行ない、歩行環境を改善する
(2) 公共交通としてのバス利用に配慮し、交通結節機能を確保する
(3) タクシー、一般車等の利用にも一定配慮し、交通の整序化を図る
(4) 施設配置はイベント利用に配慮し、賑わいの創出を図る

○平成21年１月　整備計画（案）地元説明会（緑が丘文化会館）

○平成21年４月　自由が丘駅前広場整備基本設計（案）策定

・基本設計（案）の主な内容
(1) 南側広場
・新たに確保される南側広場はイベントに対応できるよう平坦な空間とする。
・ベンチ等を設けることにより南側広場、歩道の傾斜緩和を図る。
(2) 女神像
・南側広場に配置し、身近に親しめる広場のシンボルとして位置づける。
(3) 舗装等
(ア)　歩道
・歩道舗装は周辺街並みを引き立たせるため、抑えた色調とする。
・グレー系透水性コンクリートブロックを使用し、同色系ブロックをボーダー状に配置しアクセントをつける。
・視覚障害者誘導ブロックを適切に配置する。
(イ)　車道
・車路部はバス交通を考慮し、耐久性がある半たわみ性舗装とする。
・停車部は歩道部との一体感を考慮した舗装とする。
(ウ)　植栽
・中央部タクシープール緑地にシンボルツリーとしてケヤキを配置する。
・歩道部の植栽は現在も植栽されているヤマボウシとする。
・女神像周辺、改札正面タクシープール緑地は花壇を設ける。
(4) 路上施設
・歩車道境界部には車止め（ボラード）を設置する。

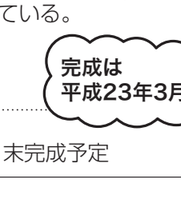
○平成21年５月　基本設計（案）地元説明会（緑が丘文化会館）

○　〃　現在関係機関（交通管理者等）と協議を進めるとともに、実施設計を行っている。

2　今後の予定

○平成21年度　・実施設計

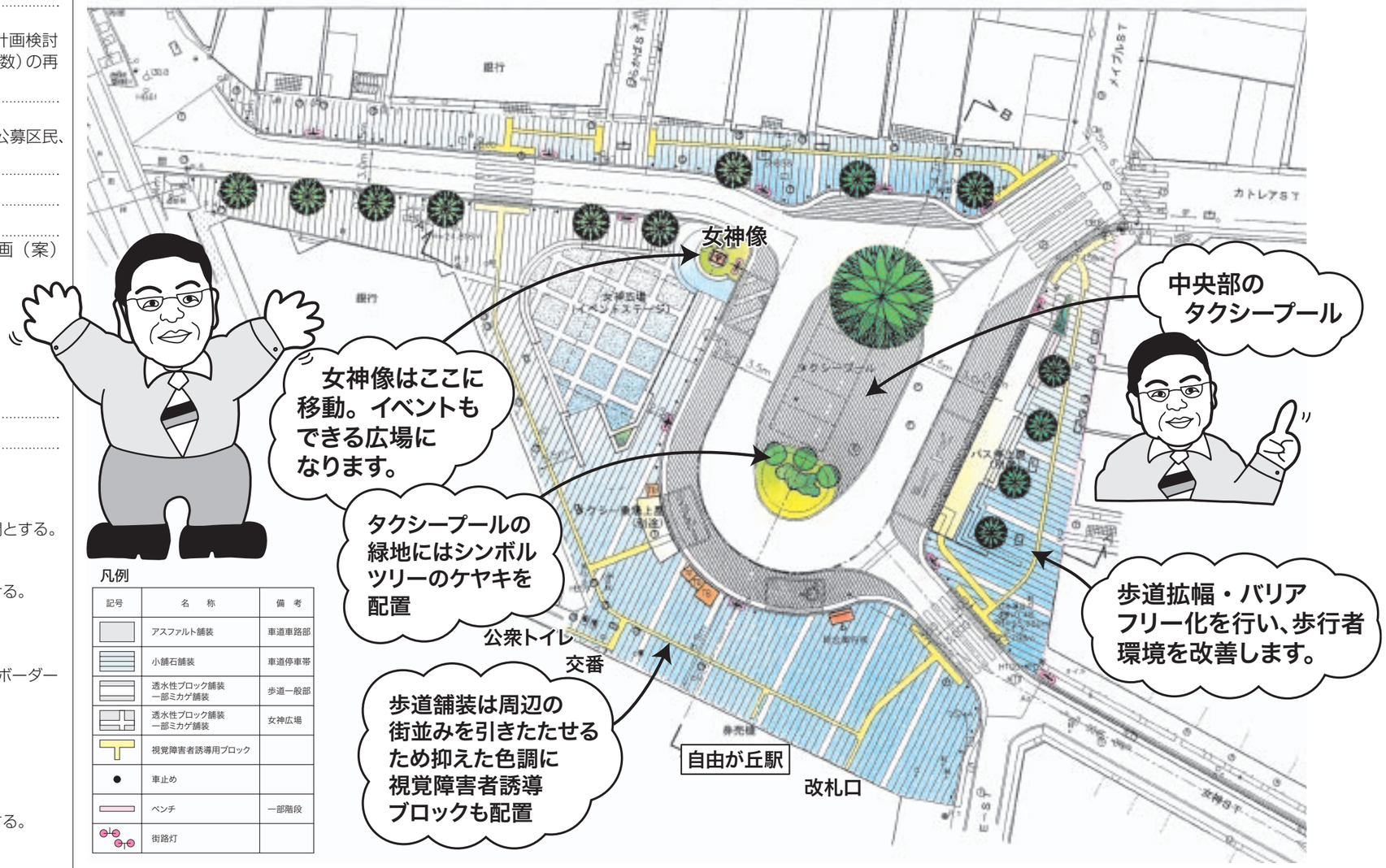
○平成22年度　・整備工事着手
平成23年３月末完成予定



自由が丘駅前　バリアフリー・歩道拡幅
女神像もイベント広場に移動

S=1:300
0　5　10　20(m)

自由が丘駅前広場基本設計図（案）



凡例

記号	名　称	備　考
	アスファルト舗装	車道車路部
	小舗石舗装	車道停車帯
	透水性ブロック舗装 一部ミカゲ舗装	歩道一般部
	透水性ブロック舗装 一部ミカゲ舗装	女神広場
	視覚障害者誘導用ブロック	
	車止め	
	ベンチ	一部階段
	街路灯	

自由が丘駅前広場は戦後まもない昭和20年代に整備され女神像は昭和36年に建てられました。その後駅前広場の大幅な改修工事はなく、来訪者が増えた現在、歩道の狭さも問題になってきました。そのため歩道拡幅・バリアフリー化を図る他、大幅改修が行われ平成23年には完成予定です。